第4回 三豊市公立病院経営強化プラン検討委員会 議事録

日時：令和6年2月21日（水）

19時00分～

場所：三豊市役所 危機管理センター3階
301、302 会議室

議事(1)パブリックコメントの結果について

石原委員 みとよ市民病院編の22ページの(6)にて、この検討委員会にてパブリックコメントについて協議し、適切に見直すとなっている。今回の出された意見によってこのプランがどのように変わったのか又は変えるところはなかったのか説明を願う。

事務局 今回のパブリックコメントを実施し精査した結果、プランの内容を変更するようなものはなかったため変化したところはない。

委員長 全部で17の意見がある。資料の意見の①～⑤までは共通のところの意見であるがよろしいか。

続いて⑥～⑬まではみとよ市民病院編に対する意見だがいかがか。

私からですが、例えば⑦についてパブリックコメントの募集についてホームページに掲載したとのことだが、どのくらいの人が目にしたのか。(閲覧数)

事務局 意見はたくさんいただいたが、委員長ご指摘の閲覧数については確認できていない。(閲覧数176回)

潟中委員 たくさんの意見をいただいて市民の方々が真剣に病院のことについて考えていただいていることをうれしく思う。⑧の経費削減は指摘のとおり今後取り組んでいかなければならない。⑩の労働場所として選択されないという問題だが、選択してもらえるような魅力のある病院にするということは現場も感じていることであり、対策を模索していかなければならない。また、「地域医療確保のため、採算が合わなくてもよい」ということについては、実際は採算が合わないことも多いが、その考えからスタートするような考えはないためご理解願いたい。⑫⑬に出てくる民営については、まず譲渡先があるのか、また仮に民営になったとしても経営がうまくいかなかった場合撤退するようなこともある。公立病院として運営することで市の医療提供体制を確保するという面もある。

委員長 続いて⑭～⑰までは西香川病院編に対する意見だがいかがか。

大塚委員 ある程度高評価いただいている部分があるように感じた。しかし、実際にはコロナで苦心し

ている面もある。また、来年度の診療報酬改定にて厳しい状況になることが予測される。それに合わせてできることをやっていかなければならない。また、地域の病院ということで認知症を含め啓発活動に取り組むとともに、介護事業所等との連携を取りながら地域の医療・介護のレベルを上げていきたいと思っている。特に認知症医療に関しては、患者に対するケアサポートだけではなく、ご家族に対する献身的なサポートが必要である。認知症になってしまうと本人もご家族もしばらく放置されている状況を変えていきたいという思いで今後もやっていきたい。

委員長 パブリックコメントのところで全体としてご意見などはないか。
ないため次の議題に移る。

議事(2)三豊市公立病院経営強化プラン(原案)

調査委員 前回の素案からの変更点(みとよ市民病院編)
・23 ページ
(1)投資財政計画の令和5年度の数値を着地見込で修正
 医業収益については、概ねもとの見込値どおり
 医業費用については、もとの見込値より抑制されている形
・24 ページ
(2)経営指標に係る数値目標
 令和5年度の数値が着地見込で修正
 もとの数値より上振れている

委員長 新しく加わったところは共通編のところと25ページ以降が加わったところだと思うので説明願う。

調査員 前回からの追加事項(みとよ市民病院編)
・共通編
 内容については、それぞれの病院編で説明している。共通事項の策定背景、策定期間、策定対象、策定の進め方、プランの実施状況の点検・評価・公表を記載。
・25 ページ
 取組についてどういうふうモニタリングするか、そのモニタリングの指標を記載。

委員長 今後プランを進めていく中で、数値を確認し評価し修正するような流れとなる。その大きな概念を共通項目で記載し、具体的にどうやるかということ25ページ以降で記載する形となっている。ここでは各年度の数値となっているが、実際には各病院で月ごとに点検をするということでしょうか。

事務局 はい。

委員長	<p>気になるのが、施策1を例にとると整形外科手術の増加とあるが、手術件数の目標はでてこないのか。活動の目標としては、近隣クリニックへの訪問となっているが、それで紹介が増えたのか、手術が実際増えたのかということが収入が増えたのかどうかということにつながると思う。今年訪問へ何件いったということで、目標達成では指標としては中途半端であると思う。</p>
齊藤事務長	<p>まず、手術件数の把握ということについては、当然把握ができる数値となっているため件数を含めてモニタリングをしていきたいと考えている。近隣クリニックへの訪問については、訪問の仕方やどういった手術ができるのかということについて近隣の医療機関に説明できるような体制で行ってきたい。現状で施策1から施策12までの取組ということで、すでに院内の経営戦略会議で毎月数値などの確認をしながら、経営改善に役立てるように努めてまいりたいと考えている。</p>
委員長	<p>ロジックモデルでいうところの論理的な流れ、まず実施したことによって次はどうなり、最終的には何が增えるのか増えるはずだといったことを共通認識でもっていたほうが、病院で毎月話し合う場合や、市役所のほうで話す場合でも話しやすく理解もしやすいと思う。過去の悪い例を取り上げると訪問するのが目的になってしまい、訪問はいったものの状況は何も変わっていないというようなことが大学病院でもあり、最終の着地点というのを共通でもっていたほうがよいかと思う。</p>
調査委員	<p>施策2 精神科病棟のストレスケア病床利用者の増加 精神科病床の病床利用率は50%を切っている 取組①広報の強化、取組②入院の要請がないか見ていく モニタリング指標:精神病床の利用率であり、R5の60.8%は現実に近い数値で病床利用率は上昇している。</p> <p>施策3 小児科診療日数の増加 週3回→週4回(医師も確保済み) 収益としては現在伸びている</p> <p>施策4 糖尿病診療日数の増加 週1回→週2回に診療日数が増加、閉鎖した医療機関に通院していた患者様が現状来院していることもありそれらを踏まえて増加を見込んでいる。(令和5年8月から増加している)</p> <p>施策5 発熱外来収益の維持 今後不透明ではあるものの、発熱外来の機能は維持し、維持する事での収益を見込んでいる。</p> <p>施策6 外来単価報酬見直しによる単価アップ</p>

類似病院と比べ単価が低いということもあり、医事機能の強化(レセプト確認や報酬を計上できるものがないかの確認)

委員長 診療報酬という制度だが、内容が膨大ということもあり請求の見落としにより、病院が大きくなればなるほど本来報酬としてもらうべきものがもらえていなかったといことがありうる。そういったことを減らすという内容になっている。

調査員 施策7 講演会開催等による知名度向上
直近で開催されたときも参加者が多数で、現状詫間で開催したものを三豊市全体で行う。詫間の病院というイメージの払拭。

施策8 リハビリの利用促進
モニタリング指標は患者数となっているが、現在のところリハビリの外来患者も増えている。

施策9 室料差額の徴収開始
市民病院は全室個室で室料差額がないというところが、アピールポイントであったが通常の部屋については差額なしを維持し、トイレなど追加設備がある病室については室料差額を徴収する。

石原委員 取組9-①で令和5年度中となっているが現在2月末で条例改正のタイミングがないため変更する必要があるのではないかと。

齊藤事務長 令和5年度中で調整を図っていたところであるが、重要なことであるためさらなる協議の必要があると考えている。そのため、令和5年度中という表記については修正する。

施策10 訪問看護ステーションの利用者の増加
在宅医療のニーズが高まっていることから、訪問看護ステーションにも注力していく。

委員長 エリアはどのくらいを想定しているのか。

齊藤事務長 みとよ市民病院の訪問看護の特徴は精神の患者様の訪問となっている。三豊市内の全域の精神の患者様を想定している。

委員長 マンパワー的には問題ないのか。

齊藤事務長 現状の人数でできうる限りのことをやっていく。

調査員 施策1 人員配置適正化による給与費のコントロール

前は定年延長や再雇用による給与費の削減と記載していたところ、ご指摘をうけたため人員の配置の適正化という形に変更した。

施策 2 委託料の見直し

現状でも委託を終了する部分も出てきている。委託料を抑制していく。

施策 1 常勤医師の確保

外部機関への働きかけを行い医師数の増加を目指す。

委員長 ここまでのところで何かあるか。

潟中委員 外来収益の維持のところ、外来は水物のようなところもあるため、果たして維持できるのかということが正直なところである。大きくは下がることはないが、コロナの公費適用などもなくなり検査を控えて病院に行かないというようなことも出てくる可能性がある。小児科、糖尿病診療日数の増加はマンパワーがないとできないため、いまできるところを最大限行っているところである。

委員長 ここに上がってきていないような病院内の数値も多くあると思うが、大きなところの数値でいくとこのようになっているところである。

高橋委員 27 ページの外来単価の見直しについて、取組 6-②で検査を実施し新しい病気などを発見してもらうことはいいことであるが、単価アップが先走っては患者目線つらいのではないか。

委員長 検査を推進するくらいでよいのではないか。この表現だと患者の負担が増加すると捉える人もいるかもしれない。

調査員 表現を変えるように調整する。

委員長 いくつか指摘していただいたことを修正するというので、二つの市立病院の地域における役割を明確にすると同時に、持続可能な地域医療提供体制の確保、経営強化の取組といたことをこれまで話し合ってきたこのプランを原案として、三豊市に答申するというのでよろしいか。

一同 <拍手>

委員長 ありがとうございます。
もう一度確認の上、細かい表現や軽微な修正について修正することでよろしいか。

議事(3)その他

事務局

今後のスケジュールについて
プランの修正等に加え、市長へ報告を行い、プランの正本を香川県へ提出する。また、議会へも報告し、後日ホームページへの掲載をする予定である。モニタリングについては次年度に令和5年度決算終了後、検討委員会の開催を予定しているためまたよろしく願います。

委員長

本日より予定していた議事を全て終了したため、進行を事務局にお返しする。

事務局

議事進行ありがとうございました。